

その先の学びにつなげる



東京書籍の『詳解歴史総合』

# 大学入試に向けた実力を養います!

東京書籍の『詳解歴史総合』では、事象の背景やつながりを丁寧にイメージしながら理解を進めます。今後、大学入学共通テストなどの入試問題で求められる力にも直結しています。

問2 水谷さんは、資料1と資料2が制定された経緯を調べ、共通の背景と個別の事情を次のカード2にまとめた。カード2中の空欄 **エ** ~ **カ** に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、後の①~④のうちから一つ選べ。

### カード2

#### 憲法制定の共通の背景

どちらも **エ** ため、欧米型の政治体制を整える必要に迫られていた。

#### 憲法制定の個別の事情

- ・オスマン帝国は、**オ** から議会制の立憲国家に変わること、領内の非ムスリムをつなぎ止め、国民として位置付けようとした。
- ・日本が立憲国家・議会政治の道に進んでいったことの国内的な背景には、幕末以来、**カ** 公議政体の考え方が国内で広く唱えられていたことが挙げられる。

## 大学入学共通テスト 「歴史総合」サンプル問題 第2問・問2

(大学入試センター作成)

オスマン帝国と日本の、憲法制定の背景がテーマです。資料をもとに、歴史事象を多面的・多角的にとらえる力が試されています。

「立憲制の広まり」では、まず**プロイセン・オスマン帝国・日本の憲法を比較**。資料を読み取りながら、日本と世界を比べます。



## 5 立憲制の広まり

19世紀の後半の立憲制には、どのような類似点と相違点があったのだろうか。



### 第30条

- 1) すべてのプロイセン人は、刑法に違反しない目的のために、結社を結成する権利を有する。
- 2) 法律は、特に公共の安全の維持のために、本条および前条によって保証される権利の行使を規制する。

**第46条** 国王は軍の最高指揮権をとる。

**第62条** 立法権は、国王と二つの議院によって共同して行使される。

1 プロイセン憲法 (1850年)

**第7条** ……陸海軍の統帥、軍事行動の指揮、イスラーム法および法律の執行、行政諸部局の事務に関する規則制定の命令……は、スルタンの神聖なる大権に属する。

**第10条** 個人の自由はいかなる類の侵害からも保護される。何人も法律の定める理由および手段を除いては、いかなる口実によっても処罰されない。

**第53条** 法律の新規制定又は現行法の改定の発案権は内閣に属するが、元老院および代議院(注: 帝国議会の両議院)もまた、その権限の範囲内の事案について、法律の制定および現行法の改定を請求する権能を有する。

2 ミドハト憲法 (1876年)

**123**の三つの憲法には、フランス人権宣言(→p.56)や立憲主義の理念(→p.60)と比べると、どのような類似点と相違点があるだろうか。また、相互の類似点と相違点はどこだろうか。

**第5条** 天皇ハ帝国議会ノ協賛ヲ以テ立法権ヲ行フ

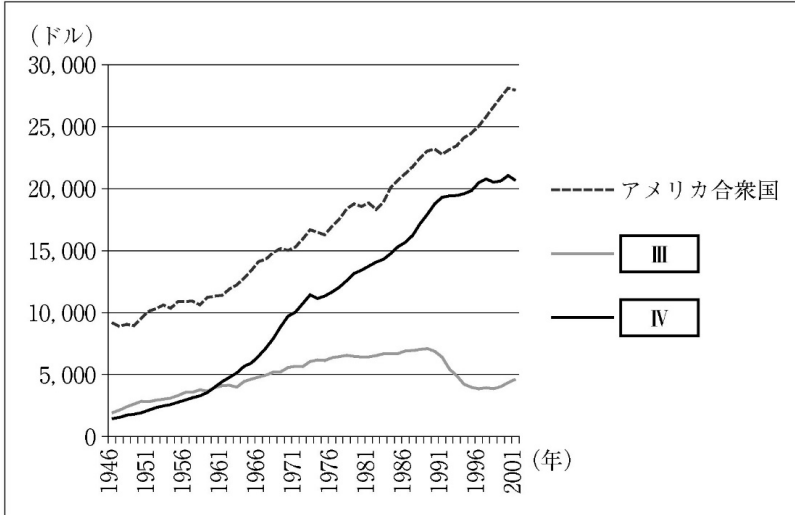
**第11条** 天皇ハ陸海軍ヲ統帥ス

**第29条** 日本臣民ハ法律ノ範囲内ニ於テ言論著作印行集会及結社ノ自由ヲ有ス

3 大日本帝国憲法 (1889年)

問 5 下線部④に関連して、東西両陣営の経済力について表した次の資料 8 は、アメリカ合衆国、ソ連・ロシア、日本のそれぞれの国の一人当たり GDP を示したものである。資料 8 のグラフに該当する国について述べた文として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

資料 8 3 国の一人当たり GDP



大学入学共通テスト  
「歴史総合」サンプル問題  
第1問・問1 (大学入試センター作成)

三つの国の、一人当たり GDP の推移を示したグラフをもとに考察させる問題です。

「日本と欧米先進国の経済成長」では、統計資料をもとに、各国の経済成長の背景を考察する構成となっています。



6 日本と欧米先進国の経済成長

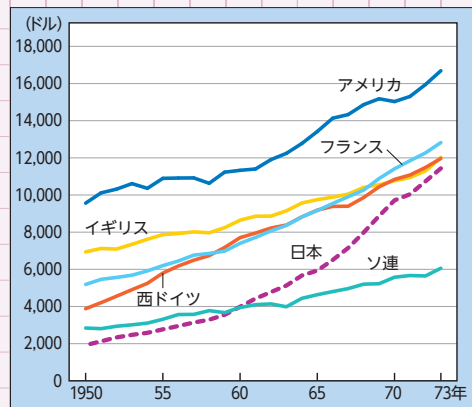
日本や欧米諸国が高い経済成長を達成できた背景や要因は何だろう。また、急激な成長は社会にどのような影響を与えたのだろうか。

経済成長をはかるおもな指標に、経済規模の拡大を示す国内総生産 (GDP) の増加率 (経済成長率) ①と、人々の豊かさを示す人口一人あたり GDP ②の二つがある。これらの指標から、各国の経済成長や人々の豊かさにどのような変化がみられたかを比較し、その要因や影響について考えてみよう。

■ GDP成長率の国際比較

	フランス	西ドイツ	イギリス	アメリカ	ソ連	日本
1950-55	4.4%	8.9%	2.9%	4.4%	4.9%	9.1%
1955-60	4.7%	8.9%	2.9%	4.4%	4.9%	9.1%
1960-65	5.8%	4.5%	3.2%	5.0%	4.8%	9.4%
1965-70	5.4%	3.9%	2.5%	3.4%	4.8%	11.6%
1970-75	3.4%	2.4%	2.1%	2.7%	2.9%	4.5%

①各国の経済成長率



②各国の一人あたり実質 GDP

教科書 182 ページ

『詳解歴史総合』は用語にとらわれないダイナミックな記述と、段階的な問いかけ、多種多様な資料の読み取りなどを通じて、「歴史から学ぶ力」を育てます。

たくわえた力で、大学入試と、さらにその先の未来へ

